

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和7年	6月4日
浜松市長		中野祐介 殿	
提出者			
住 所 浜松市中央区薬師町416			
氏 名 ㈱天竜組 代表取締役社長 山田克巳			
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 053-421-0617			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。			
事業場の名称	浜松市内各工事現場		
事業場の所在地	県内短期事業所		
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	建設業		
② 事業の規模	元請完成工事高 (令和5年度実績) 282,320千円		
③ 従業員数	10人		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり		

(別紙1)産業廃棄物の一連の処理工程



(別紙2)管理体制図



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種 類	別紙3のとおり	汚泥
	排 出 量	t	3.41 t
	(これまでに実施した取組) 異物が混入しないよう分別を徹底し排出量を抑えた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種 類	別紙3のとおり	汚泥
	排 出 量	t	3.5 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き分別を徹底する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産廃品目ごとの分別表作成（弊社作業場）		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 弊社各現場監督員、作業員、協力業者に分別教育を行う。 →産廃管理責任者		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div>(管理体制図)</div> <div>別紙2のとおり</div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種別	別紙3のとおり	廃プラスチック類
	排出量	ヤ	2 t
	(これまでに実施した取組) 異物が混入しないよう分別を徹底し排出量を抑えた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種別	別紙3のとおり	廃プラスチック類
	排出量	t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き分別を徹底する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産廃品目ごとの分別表作成（弊社作業場）		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 弊社各現場監督員、作業員、協力業者に分別教育を行う。 →産廃管理責任者		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種 類	別紙3のとおり	本層
	排 出 量	t	6.0 t
	(これまでに実施した取組) 異物が混合しないよう分別を徹底し排出量を抑えた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種 類	別紙3のとおり	本層
	排 出 量	t	10.0 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き分別を徹底する。植栽伐採・伐根工事が引続き見込まれる為、排出量は前年より増の可能性があり、切断工具にて最小化し排出量減に努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産廃品目ごとの分別表作成（弊社作業場）		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 弊社各現場監督員、作業員、協力業者に分別教育を行う。 →産廃管理責任者		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の 種 類	別紙3のとおり	アスファルト舗
	排 出 量		895.59 t
	(これまでに実施した取組) 異物が混合しないよう分別を徹底し排出量を抑えた。 ※公共工事受注での発生量がほとんどでした。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の 種 類	別紙3のとおり	アスファルト舗
	排 出 量		800 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き分別を徹底する。 排出量は前年より増の可能性があり。 重機での小割り最小化し排出量減に努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産廃品目ごとの分別表作成（弊社作業場）		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 弊社各現場監督員、作業員、協力業者に分別教育を行う。 →産廃管理責任者		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種別	別紙3のとおり	コンクリート破
	排出量	t	136.69 t
	(これまでに実施した取組) 異物が混入しないよう分別を徹底し排出量を抑えた。 ※公共工事受注での発生量がほとんどでした。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種別	別紙3のとおり	コンクリート破
	排出量	t	150 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き分別を徹底する。 排出量は前年より増の可能性があり。 重機での小割り最小化し排出量減に努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産廃品目ごとの分別表作成 (弊社作業場)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 弊社各現場監督員、作業員、協力業者に分別教育を行う。 一産廃管理責任者		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	建設系安定型混合
	排出量	t	16 t
	(これまでに実施した取組) 分別を徹底し再利用率に努めた。 建設系混合廃棄物の分別を行い、リサイクル材として処分できるものは、個別に処分する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	建設系安定型混合
	排出量	t	15 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き分別を徹底する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各事業所の梱包材を分別し、混合廃棄物の発生を8t/15tに抑えた。 廃棄物の分別表を作成し、現場作業員に周知徹底した。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各事業所の混合廃棄物の発生量を8.15t以下にえる。 廃棄物の分別に関する教育を行っていく。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種	別紙3のとおり	管理系安定型混合
	排 出 量	t	5.5 t
	(これまでに実施した取組) 石綿含有等の有無を試料採取→定性分析調査し石綿含有等有害物質不検出の場合は安定型混合廃棄物として搬出し管理型混合廃棄物の排出量を抑えることができた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種	別紙4のとおり	管理系安定型混合
	排 出 量	t	5.0 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き分別の徹底また定性分析調査等にて管理型混合廃棄物の排出量を抑えるように努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産廃品目ごとの分別表作成掲示(弊社作業場) 定性分析による石綿含有有無等調査。 一弊社一般建築物石綿含有建材調査者		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 弊社各現場監督員、作業員、協力業者に分別教育を行う。 一産廃管理責任者 引続き定性分析による石綿含有等の有無調査。 一弊社一般建築物石綿含有建材調査者		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（2024年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組) なし			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（2024年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり		
	全処理委託量	1065.09	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	29.50	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1041.59	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(これまでに実施した取組) できるだけ優良認定業者への委託量を増やす。			

②計画	【目標】 産廃処理量減量及び再生利用量増		
	産業廃棄物の種類		別紙3のとおり
	全処理委託量		985.5 t
		優良認定処理業者への処理委託量	32 t
		再生利用業者への処理委託量	963.5 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 引続き優良認定業者を選定し委託量を増やせるようにする。		
※事務処理欄			

[illegible]